

「教育勅語の精神取り戻す」

稲田朋美防衛相は8日の参院予算委員会で、「天皇のために命をささげること」を最高の道徳とした戦前の教育勅語について「全体として教育勅語が言っている日本が道義国家を目指すべきだ」という精神は、目指すべきだという考えは今も変わっていない」と述べました。社民党の福島瑞穂議員に対する答弁。

福島氏は、稲田氏がかつて雑誌『WILL』(2

参院予算委 稲田防衛相が答弁

06年10月号)に掲載された対談で、「最後の：一行も含めて教育勅語の精神は取り戻すべき」と述べていることを取り上げ、現在も同じ考えなのかと質問。稲田氏は「勅語の精神は今も取り戻すべきだと考えている」などと答えました。その上で稲田氏は「教育勅語自体がまったく誤っているというの私は違うと思う」などと言いつちました。

また、同対談で稲田氏が言及している「教育勅語の素読をしている幼稚園」とは、森友学園が運営する塚本幼稚園なのかと福島氏が問うと、稲田氏は自らの発言なのに「塚本幼稚園だと推測する」と答弁。同学園の籠池泰典理事長との関係については「面識はあるが、ここ10年ぐらいは会っていない。大阪で行った1回目のパーティーの時に、籠池さんがおられたことは記憶にあるが、それ以来、お目にかかったこともない」と話しました。